

# 第5章 重点プログラム

## 重点プログラム 1

### 子どもに対する栄養バランスについての知識の普及

アンケート調査では、食育を推進する上で「学校、保健所などにおける食育の推進」が最も重要といった結果が出ています。第1次計画では子どもへの食育に力を入れて推進してきました。小学生から市内在住の高校生までの「しょくまるファイブ」の言葉や内容についての認知度は高い状態です。理解をしていることは食育を進めていくうえでの基盤となります。そのため、今後も引き続き子どもに対して、「しょくまるファイブ」を通して食育の啓発を進めていきます。

## 重点プログラム 2

### 家族で料理・作物栽培に触れる機会の創出

アンケート調査では、食育推進の重要度では、「家庭における食育の推進」が2番目に高くなっています。

家族で一緒に食事をすることは多いですが、一緒に食事づくりをすることはあまりできていません。家族で料理をすることは、食の関心を高めるとともに、家族内のコミュニケーションを深め、食育の推進につながります。また、作物栽培をすることは、食べ物をいただくことへの感謝の気持ちを育てます。そのため、家族で料理や作物栽培をする機会を創出し、楽しみながら食への関心を深めていくことを進めていきます。

## 重点プログラム 3

### 若年層（次世代の親世代）への「食育」の啓発

刈谷市は県内有数の工業地域であり、生産年齢人口割合は愛知県内で4番目に高くなっています。20歳代後半から30歳代前半の男性が多いことが刈谷市の人口の特徴となっています。

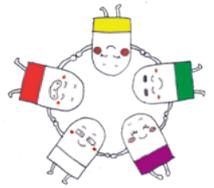
20歳代から30歳代の若年層は、ほかの世代と比べ、朝食の欠食率が高いことや食育の実践をあまりしていないことが課題となっています。

20歳代・30歳代はこれから親になる世代でもあり、次世代に伝えていく役割を今後担っていきます。そのため、若年層（次世代の親世代）に食育を啓発していきます。

## 重点プログラム 4

### 高齢者に合わせた「食」支援

現在、高齢者の低栄養が問題になっていることや、刈谷市では高齢者の人口割合が増加していることが課題となっています。健康寿命を延ばすためにも、健全な食生活を確保することは重要です。今後も高齢化が進むことが考えられるため、高齢者への食の支援を重点的に取り組んでいきます。



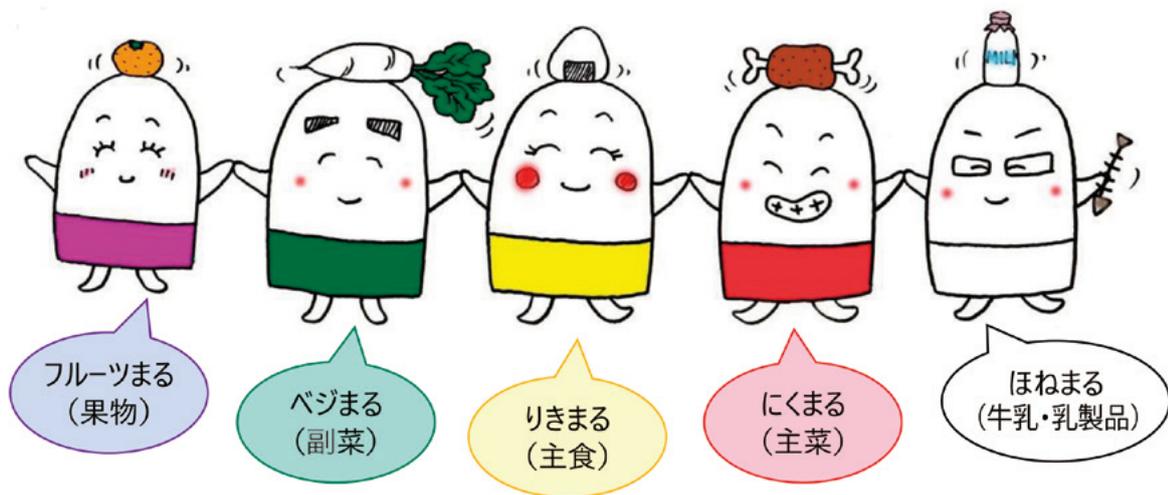
## 重点プログラム 5

### 連携の強化

食育に関して取り組んでいくためには、市だけでなく、教育関係者、生産者、食品関連事業者、ボランティアなど、食育にかかわる様々な関係者が連携・協働して推進していくことが重要です。

さらなる食育の推進を図るため、連携の強化を重点的に取り組んでいきます。

## しょくまるファイブ



『しょくまるファイブ』とは、食事バランスガイドを子どもたちにわかりやすく説明するために、愛知教育大学の西村名誉教授が考案した食育キャラクターです。

キャラクターは、食事バランスガイドの主食、副菜、主菜、果物、牛乳・乳製品の各部分に由来しています。